

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

013	2001	事務事業名	中山間地域等直接支払事業	細事務事業名		公的関与	9						
課名	農林振興課	係名	農業振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp						
事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	22年度～26年度 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策 (2) 農業生産基盤の充実						
事業の対象	多面的機能の低下が懸念されている中山間地域等を対象			根拠法令	中山間地域等直接支払交付金実施要領								
事業の目的	最終的	担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保することにより、農地と農村集落の保全を図ります。		今年度									
活動内容	耕作放棄地の発生防止活動												
	水路・農道等の管理活動												
	多面的機能を増進する活動												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標					
			事業の性質上、指標設定ができません。	目標									
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
		実績											
予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業費		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	69,894 千円	69,898 千円	70,316 千円	中山間地域等直接支払事業は、1期 5年間の事業です。 第2期:H17～21年度 第3期:H22～26年度								
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	25,065 千円	23,634 千円	24,038 千円									
	計(A)	94,959 千円	93,532 千円	94,354 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	1.008 人 7,493 千円	1.008 人 7,614 千円	1.008 人 7,598 千円									
	臨時職員工数・経費	0.100 人 171 千円	0.100 人 171 千円	0.100 人 170 千円									
全体事業費(A+B)		102,624 千円	101,318 千円	102,123 千円									
一次評価者	農業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	耕作放棄地の防止を図るうえで必要です。また、中山間地域等直接支払交付金実施要領に基づき実施します。												
有効性	事業を実施することにより、耕作放棄地の防止に大きな効果があります。												
達成度	目標面積はないが、対象農用地面積の90%以上実施しているため十分達成しています。												
効率性	協定内容の活動が実施されているか現地確認を実施したり、交付金が適正に執行されているか収支報告を義務付けています。												
当面の課題	農業者のニーズは高く、中山間地域農業の保全を図る上で事業効果は大きいですが、農業者の高齢化等により、事業面積は縮小する可能性があります。												
改革計画	中山間地域等において、農業生産活動等の維持を図りながら、多面的機能を確保するため、高齢化の進行にも配慮した取り組みやすい制度に見直し実施します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	大きい事業効果が認められますが、高齢化等に伴う人口減少等により、集落機能が縮小している現状から、更なる交付金の有効活用を推進する必要があります。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

013	2012	事務事業名	農村環境改善センター維持管理事業	細事務事業名		公的関与	6						
課名	農林振興課	係名	農業振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp						
事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策						
事業の対象	農業者			根拠法令	東温市農村環境改善センター条例								
事業の目的	最終的	農林業の振興及び生活環境の改善、合理化また地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を効果的に推進します。			今年度								
活動内容	使用申請受付・許可書発行			修繕事務									
	ガス・水道・電気メーター検針及び料金支払い												
	施設警備、消防設備点検、浄化槽維持管理、特殊建築物定期調査、植木剪定、電気保安業務委託事務												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
			事業の性質上、指標設定ができません。		目標								
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
				実績									
予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業費			費				
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	242 千円	14 千円	607 千円									
	一般財源	5,979 千円	1,587 千円	3,541 千円									
	計(A)	6,221 千円	1,601 千円	4,148 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.163 人	1,212 千円	0.163 人	1,231 千円	0.163 人	1,229 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		7,433 千円	2,832 千円	5,377 千円									
一次評価者	農業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	利用者を農業者対象としている東温市唯一の施設です。												
有効性	農業者にとって利便性の高い施設になっています。												
達成度	農業者対象の会議が減少、また他施設を利用するようになったことから、使用頻度が低くなっています。												
効率性	築後長期間が経過し、修繕箇所が多く発生していますが、限られた予算内で効率良く修繕等実施しています。												
当面の課題	築後21年経過し、多額の補修費用が必要になってきています。また、農業者が施設を利用する頻度が低くなっています。												
改 革 画	今後も市で維持・管理していく予定です。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	農林業者の減少と、他の施設利用などにより、利用が低迷している現状です。事業目的に沿って利用増を図り、維持・管理していく必要があります。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

013	2027	事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	細事務事業名		公的関与	1						
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	19年度～23年度 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第6章 みんなでつくる協働・自立のまち	政策項目	3 地域コミュニティの育成	主要施策							
	事業の対象	共同活動支援（農地、農業用水、農村環境等の保全向上活動）22地区 営農活動支援（共同活動支援地域内で行う環境負荷を低減する営農活動）3地区 愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会			根拠法令	東温市農村環境保全向上活動支援事業補助金交付要綱							
	事業の目的	最終的	地域住民など多様な主体の参画を得ながら地域共同で取組む農村環境等の保全活動及び環境に優しい営農活動を行い、農村環境等の将来にわたる適切な保全管理と地域住民共助活動の促進による農村地域の活性化を図ります。			今年度							
	活動内容	農業者やその他の地域住民を中心とし、地域が一体となって農用資源の適切な保全管理や農村環境向上を行う活動組織に対し、水土里ネットを経由して交付金を交付します。											
		活動組織の中で、化学肥料及び化学合成農薬の大幅な低減により環境負荷を低減し先進的な営農を行う農家に対し水土里ネットを経由して交付金を交付します。											
		愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会及び市の推進事業について補助金を交付及び受領します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
				事業の性質から、指標の設定は困難です。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	14,202 千円	14,098 千円	14,191 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	14,202 千円	14,140 千円	14,317 千円								
	計(A)	28,404 千円	28,238 千円	28,508 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.042 人	312 千円	0.042 人	317 千円	0.042 人	317 千円					
		臨時職員工数・経費	0.021 人	36 千円	0.021 人	36 千円	0.021 人	36 千円					
	全体事業費(A+B)		28,752 千円	28,591 千円	28,860 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	農地・農業用水等の資源や農村環境を守り、質を高める地域共同の取組と、環境にやさしい先進的な営農活動を支援する必要があります。												
有効性	資源の適切な保全管理を行うとともに農村環境の保全等にも役立つ地域共同の効果の高い取組を促進することができます。												
達成度	農地・農業用水等の資源を活用して行う生態系保全、水質保全、景観形成等の農村環境を向上させています。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の事業展開は困難です。												
当面の課題	農地や農業水路などの農業関連施設の保全・管理のため、地域全体での取り組みが課題となっています。												
改革計画	地域が一体となって地域の農業関連施設や環境などを保全・向上していくことの大切さについて理解を深めるため、地域資源活用のための話し合いの強化を行います。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市内農振農用地面積の8割の面積を対象に実施しており、県内トップの取り組み状況となっていますが、十分な成果を上げていない地区も見受けられることから、事業内容の充実を図る必要があります。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

013	2045	事務事業名	森林病虫害等防除事業	細事務事業名		公的関与	6						
課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp						
事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	全部委託・補助等	実施計画	非該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策 (1) 計画的な森林整備の推進						
事業の対象	塩ヶ森ふるさと公園の松林 (3ha)			根拠法令									
事業の目的	最終的	松くい虫の被害から守るため、防除薬剤の地上散布を実施するとともに枯れてしまった松の伐倒駆除(薬剤散布)を行い、被害の拡大を防ぎます。松枯れを防ぐことにより、景勝地として維持し、また水源かん養や崩落防備等の防災機能を維持することができます。			今年度								
活動内容	松くい虫防除薬剤の地上散布を実施します。												
	枯れた松の伐倒駆除(薬剤散布)を行います。												
成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標					
		事業の性質上、指標設定ができません。		目標									
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
			実績										
予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費					
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	200 千円	284 千円	282 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	753 千円	210 千円	328 千円									
	計(A)	953 千円	494 千円	610 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.052 人 387 千円	0.052 人 393 千円	0.052 人 392 千円									
	臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円									
全体事業費(A+B)	1,340 千円		886 千円	1,002 千円									
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市の財産である塩ヶ森ふるさと公園の松林を守り、また松林の持つ防災機能を維持するために必要な施策であると考えます。薬剤等についても人体に影響のないものを用いています。												
有効性	松林を枯らさずに残すことができ、施策の目的を実現するためには有効な事業です。												
達成度	地上散布業務を行うことで、松林の松枯れの被害拡大を防ぐことができ、十分目標は達成できています。												
効率性	地上散布は年に1回、伐倒駆除は松の枯れ具合を見て必要最低限の回数で実施しており、必要最小限のコストで効果を上げています。												
当面の課題	地上散布以外にも、より効果の高い事業の方法を模索していく必要があると考えます。												
改革計画	今後とも効率的な事業実施に努めます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	近年、散布回数の減少等により、松枯れの増加傾向が見受けられることから、農薬の安全性に配慮しつつ、散布方法の検討が必要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

013	2049	事務事業名	被害木防災対策事業	細事務事業名		公的関与	3						
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(2) 森林の保全・育成と総合的利活用				
	事業の対象	東温市内の放置被害木				根拠法令							
	事業の目的	最終的	山道、林道、市道や河川周辺の放置被害木(松林)を伐倒整理し、道路機能や河川機能の確保に努め、防災の一助とします。				今年度						
	活動内容	被害木の伐採撤去活動を行うための委託契約関係事務											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標		
		被害木の本数		放置被害木の本数の大小は住民生活の生活・安全に影響を与えるものであると考えたからです。			本	目標			50	30	
						実績	76	225					
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	378 千円	704 千円	819 千円								
	計(A)	378 千円	704 千円	819 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.014 人	104 千円	0.030 人	227 千円	0.014 人	106 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		482 千円		930 千円		925 千円						
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	住民の生活の安全を守るため、今後も市が主体的に事業を実施する必要があります。												
有効性	事業を継続することで、施策の目的を実現しており、有効な事業です。												
達成度	東温市内に存在する放置被害木の調査を行った上で、倒木や倒木の恐れのある被害木を伐倒・整理しておりますので、目的は達成しています。												
効率性	効率的に行われており、実施手段等特に問題はありません。												
当面の課題	特にありません。												
改 革 画	今後とも効率的な事業実施に努めます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	施行箇所は、毎年異なるため、今後も実施が必要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

013	2050	事務事業名	森林ボランティア事業	細事務事業名		公的関与	8						
課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	2 林業の振興	主要施策	(1)計画的な森林整備の推進							
事業の対象	東温市民の方々			根拠法令									
事業の目的	最終的	森林ボランティア活動を通じて、森林のもつ公益的機能についての理解を深めるとともに、森とのふれあいにより、森づくりの輪を広げていきます。		今年度									
活動内容	抵抗性松の植樹												
	椎茸の植菌												
成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標					
	森林ボランティアの活動人数	参加者数の大小が、目的達成度を測る一指標になると考えるからです。		人	目標			40	70				
					実績	(スタッフを除いて)32	(スタッフを除いて)25						
					目標								
					実績								
					目標								
実績													
予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	37 千円	245 千円	457 千円									
	計(A)	37 千円	245 千円	457 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.041 人	305 千円	0.041 人	310 千円	0.041 人	309 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		342 千円	555 千円	766 千円									
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	近年高まりつつあるボランティア・エコへの市民の関心の受け皿として、市が主体となって活動を行うことは必要です。												
有効性	目的の達成のため、市が適切な内容を決定する今の事業方法が有効です。												
達成度	概ね達成できていると考えておりますが、さらに参加人数が増えるように取り組んでいきます。												
効率性	他の自治体の取り組みを参考にし、他の関係機関と協力することで、より効果を挙げられるよう検討していきます。												
当面の課題	参加人数の拡大のため、ボランティアの内容、告知方法等について再考が必要と考えます。												
改訂計画	他の関係機関の取り組みを参考にし、より効果的で多くの人に参加してもらえる森林ボランティア活動が行えるよう検討中です。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	事業効果をさらに上げるため、より多くの人に参加を呼びかけ、方法等の改善が必要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

013	2068	事務事業名	有害鳥獣捕獲事業	細事務事業名		公的関与	4						
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託・補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1)計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	市内の山林及び山林に隣接する農地及び農作物				根拠法令							
	事業の目的	最終的	有害鳥獣による被害が深刻化しており、その被害を最少限に抑えるため、有害長寿捕獲活動及び農林地への侵入防止対策を実施します。			今年度							
	活動内容	有害鳥獣(野猿、猪、鹿、カラス)の捕獲事業											
		農林地等侵入防止施設の整備事業											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		有害鳥獣の捕獲数		農作物被害を起こしうる鳥獣を捕獲した数		頭、羽	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
							目標	実績	目標	実績	目標	実績	
					目標	実績	目標	実績	目標	実績			
					目標	実績	目標	実績	目標	実績			
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	100 千円	130 千円	100 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	3,123 千円	2,830 千円	2,750 千円								
	計(A)	3,223 千円	2,960 千円	2,850 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.085 人	632 千円	0.083 人	627 千円	0.113 人	852 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,855 千円		3,587 千円		3,702 千円							
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	市民の農作物等への被害を食い止めるために、必要な事業です。												
有効性	事業を行うことで、被害を未然に防ぎ、拡大を最少限に抑えている点から有効です。												
達成度	侵入防止策については、現地視察でも周囲の農地と比べ被害が少なく、目的は達成できていると考えます。捕獲事業については、被害を抑えるというよりは現状維持に留まっており、新たな策を講じる必要があります。												
効率性	生息数に伴い捕獲数が年々増加してきており、適切な捕獲を継続するため、捕獲奨励金や補助金の見直し等が必要と考えます。												
当面の課題	鳥獣の行動範囲が銃器の使用できない市街地の近くまで広がってきており、被害、目撃の情報が寄せられてもすぐさま捕獲を行うことが出来ない場面が出てきています。												
改革計画	捕獲だけではなく、農家の方々に鳥獣を呼び寄せてしまう作物残渣の処理の徹底や防護柵の整備等の自衛のための策にも力を入れていただき、山から下りてくる鳥獣が増えないようにします。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	猟友会による捕獲事業は、サル、イノシシ、シカ、カラスの捕獲実績も多く、効果を上げていますが、カラスを奨励金対象にし、サルの奨励金を他の有害獣に合わせるなど、見直しを行っております。今後、サルの被害が頻発、広域化しており、現状の対策では効果に限界もあることから、農家による自衛等、意識啓発を図るなど、対策の見直しが必要です。												